

<蒲生干潟自然再生全体構想の概要>

1 自然再生の対象となる区域

宮城県仙台市宮城野区蒲生地区 58ha

国指定仙台海浜鳥獣保護区蒲生特別保護地区 49ha

緩衝緑地等県有地 8ha

民有地 1ha

2 自然再生の目標

(1) 将来あるべき姿

渡り鳥の渡来中継地である良好な湿地環境の保全、生態系の劣化防止、現状の改善に資する干潟の適正な利用を図るとともに、環境教育等を通じた自然に接することができる場の創出。

(2) 自然再生のイメージ

○干潟、砂浜、河口、淡水池等の多様な要素が組み合わされた海浜景観

○シギ・チドリ類、コクガン等の渡り鳥や干潟が育むゴカイ、コメツキガニ等の底生動物等の多様な生物による豊かな生態系



図一位置図

○環境教育やレクリエーション等の利用と鳥類等の生態系の保全のバランスを確保した空間利用

3 蒲生干潟自然再生協議会構成員

学識者 9 名、地元関係者 5 名（内公募 1 名）、NPO 等 5 団体（内公募 1 団体）、関係行政機関 3 名（国土交通省 2 名、環境省 1 名）、地方公共団体 4 名（仙台市 1 名、宮城県 3 名）

計 26 構成員 ※平成 20 年 3 月現在

4 目標を達成するための取組

(1) 多様な生物を育む干潟の保全、復元

越波防止堤の延長、導流堤の改修、人工干潟の創出等

(2) 湿地を維持する水循環の再生

導流堤の改修、濘筋掘削、堆積砂の除去、淡水源の維持等

(3) 砂浜環境の保全・回復

鳥類の生息地保全と創出、計画的な利用者の誘導

(4) 環境保全活動・環境教育の推進および各主体の交流する場の創出

計画的な利用者の誘導、観察施設の設置